

～戦後70年の今～



おばあさんとの出会い。



3ヶ月前から
クラスのリーダー的存在に
目をつけられ
なごまけまのい
日表行を受け
不登校になった

もう
居場所なんて
どこにもない



アイス買いに行こ...

ここで
食イよーこと
平和公園

お...ネコ...トラネコだ

こんにちは

...こんにちは...

私ね
采週引っこすのよ

こっついで日は
アイスが一番

何故か
となりには

よう

あついで
ゆ

そつた引っこすまで
話し相手になつてくれかい
かしら?

あらっ
ごめんなさいね

それで子供達に施設に
入れと言われぬ

去年夫が亡くなつたの

しょうがたい
よな

は身：僕
良ければ

人と話してたら
まぎれると
思つたのよ

僕がですか?

導つてエサに行く
のは
不安でぬ

まあっ
ありがとう



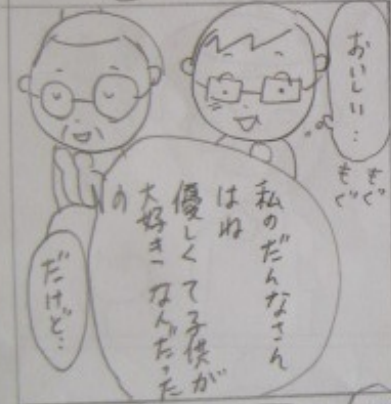
次の日ー！

これ！



これが

有馬ヤコラさんの
出会っていた



あいりー！

私の旦那さん
はね
優しくて子供が
大好きなんだよ
だけと...



それね

私の旦那さんの
大好物だったの
あいりいねよ？



戦争ですか？

そう
第二次世界大戦
の時にね

でもちゃんと
生きて帰って
来たのよ



私達が
結婚してよ

兵隊に行ってしまった！

たいしたケガもなく
帰って来たのは
良かったけれど

毎晩夢で
うなされる様に
なったの

戦争の夢でも
見ていたのかしらね
苦しそつにして

ううう
大丈夫ですか？

ああ
ごめんなさいね
何か悲しく
なっちゃって

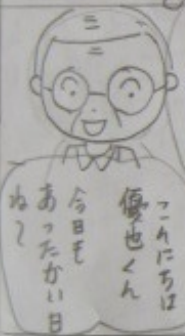
戦争は70年たっても
心の傷がいえてない人が
いるのだと思った

ああ
トッソーイマア
心配してくめたのね
ありがとう

家にも学校にも
居場所はないけれど



明日はおばーさんに
会った



こんにちわ
おばーさん

次の日！



こんにちわ
優也くん
今日も
あったかい日
ね？

安心できた



あの
おばーさんに
会ったら



実は...



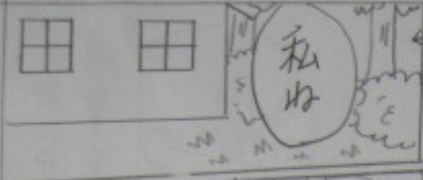
この人なら
話しても
いいかな！

何かあった？



今日は少し元気ない
みたいね





私ね



ウチにいらっしやい

今日は暑いのて



お庭で畑仕事してるのよ

楽しいゆよ収穫してみよかい?



はい!!



収穫物のゆよ



私の母もね空襲の時に

私達に飯を作ってくれようとして



戦争では少しの食料で皆暮らしてたのよ

それで命をつないでいたのよ

大変だったんですゆ

!! !! !! !!

この世に生かされるものは
全て尊いものだから
大切にしなければ

台所に居た時に
爆撃を受けたの
え...

私ね
国同士の争いも
いじめも
同じものだと
思っちゃうの

はい...

命は神さまのものです
人間のものではないゆ

神さまから与えられた
命だもの
相手^がを傷め
つけるんてしょうか？
同じよ
そうよ
相手が気に入らない
という理由で
同じ？



助け合って
生きている...



お互いに助け合って
生きているが
本来の生きている方なんじゃ
ないかしら

だから傷つけ合わずに



あなたの命が
他の誰かの役に立つ
ために



学校だけが
全てではないゆ

人は幸せになる為
に生まれて来たの



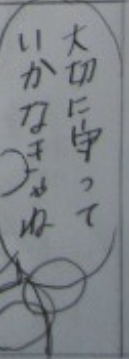
ハッパラッパ
ハッパラッパ



あら
とうちゃん
お外に
出かけたの？



はい



大切に守って
いかなきゃね



あの子はね
虐待を受けていた
ネコなの

えー！

ネコがですか？



あの子は
私の主人に似ていま
りよ



何だこの味は！！
作り直せ！！

戦争から帰って来た
主人のようだった



うちに来た時は
がみついたりおなえたり

優しい人だったのにね
戦争から帰って来てから
人が変わった様にな
ってしまっ



あなた
子供が生まれますから

そんなの
知ったことか

戦争は夫の心に深い傷を負わしてしまった。

そっつてすわい...
戦争は人を
変えてしまっつたのや

おはあめんも
たんなんさんち
痛みを包え
ながら
一生懸命生きて
来たんだな

てそね
年がたつことに
元の小次郎さんの様に
おたせかになつて
いったのよ

そっつてすわい...
私はぬこの雨は
浄化の雨だと思っ
てるのよ

終戦記念日が近くと
雨が降るでしょう

戦争で旅立った人達が

この世で生きている私達の
傷をいやしてくれる雨

幸せな未来を築いて
いってほしいと願っている
気がするの

まると

側にその人達の
ぬくもりが
ある様だった

あり
トラちゃん

帰って
来たの

そうた
あなたに
一つお願いがあるの

何ですか？

ムリじゃなければ
このトラちゃん
引き取ってほしいの

施設では飼えない
らしいから



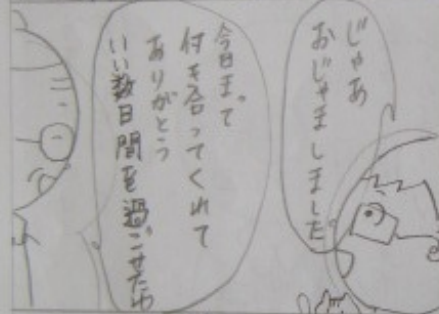
ありがとうございます

僕が面倒みます

分かりました



トウは しばーさんの
家族



今日まで
付そるってくめて
ありがとうございます
いい教日間を過ごさたわ

じゃあ
おじゃましました



トウよかったゆ?



あなたは
一人じゃないわ

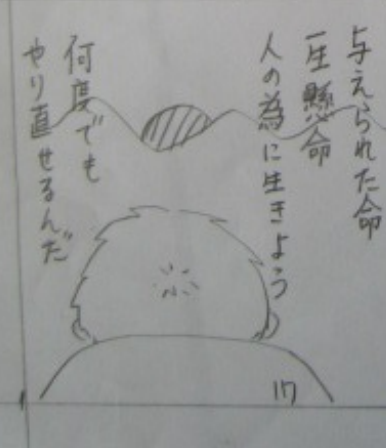


僕も楽しかった子
では

優也くん
こみだけは
覚えておいてね



強く生きよう



そつ おはあさんは
教えてくれた

立ち土かれる
強さを持とつ

ふまれても



< fin >

<参考文献>

シルバ-ハ-千の靈訓 / 近藤 千雄 訳
(1) ~ (12)

戦後70年の今

<http://p.booklog.jp/book/100806>

著者 : aoi

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kumonosu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/100806>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/100806>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ